

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校
校長室便り No.2 令和元年9月4日



いよいよ二学期です！

例年よりも短い夏休みでしたが、それでも子供たちに会うと、背が伸びてたくましくなったと感じます。2学期は、学芸会、マイ詩発表会（学校公開）、道徳授業地区公開講座など、子供たちの学びやその成果見ただけの機会もたくさんあります。ぜひ、お時間の許す限り学校に足をお運びください。

命をいただく・・・5年生 野外体験教室に行ってきました

6年生の日光移動教室と同様に、1年生からのプレゼントである可愛いてるてる坊主をリュックにつけて出発した野外体験教室。日光移動教室との一番の違いはたくさんの「体験」を通して、教科学習とは違った学びを深めることです。今回の体験はグループハイキング、飯盒炊爨、キャンドルファイヤー、そして牧場体験でした。ハイキングの最後にはお楽しみソフトクリームがあったのですが、クリーム上部をぽとんと落とす悲しい体験をしてしまった子も・・・でも、お店の方のご厚意で、「おかわり」をもらうことができ、それもまた思い出に残る体験でした。

滝沢牧場では職員の「浜ちゃん」こと浜田さんから、まず、牧場にいる牛たちについてのお話を聞きました。なぜ雌牛しかいないのか。雄牛は生まれたらどうなるのか。年を取ってお乳が出なくなったらその雌牛はどうなるのか・・・結局雄牛も老いた雌牛も牛肉として売られることになるというお話は、何気なく食べている牛肉について、改めて考える機会となったようです。でも浜田さんは続けて「かわいそうだからもう肉を食べない、ではなく、しっかりと食べることで自分が健康になり、そのことによってその牛たちは人の役に立つ仕事をしたことになります。どうか皆さん、牛たちの命をしっかりともらって、つないでください」とおっしゃいました。

その後の鉄板焼きバーベキューのお昼は、どのテーブルも残菜がとても少なく、子供たちが先ほどの話を受け止めてくれた証拠、と嬉しく感じました。



芸術の秋！三題

1 学芸会始動！

11月15・16日は学芸会です。教職員は今、それぞれの学年の子供たちに合った演目を一生懸命探し、大体の目途を付けたところです。講師の先生を招いて、演劇指導についての研修も行います。実際台本が配られ、配役が決まるまでは少し時間がありますが、「演技する」楽しさをお子さんと共有していただけたら嬉しいです。

2 読書月間を設定します

10月15日～11月8日を本校の読書月間と定め、読書に関する様々な取組を行います。担任の読み聞かせ、図書委員会による先生方へのインタビューに基づく「お薦めの本」の紹介、児童一人一人による「お薦めの本」紹介カードの作成などを通して、今まで以上に本に親しんでほしいと願っています。朝読書ではおうちの本を持ってきてもよいので、その際にご協力をよろしく願いたします。

3 クラシック音楽を聴きに

いらっしゃいませんか？

10月17日午後、文化庁主催の巡回オーケストラ公演会を実施します。後半の30分程度（14:20～55予定）を、保護者・地域の方にも聴いていただけたら、と考えています。詳細は改めてお知らせしますが、お時間があればぜひお運びください。



鎮魂の夏・・・わすれてはいけないこと

始業式で、私の故郷新潟県長岡市の花火大会の話をしました。この花火大会が他の地域の花火大会と少し違うのは、長岡空襲で亡くなった方の慰霊の意味もあるということです。

3年前に亡くなった私の母は生前、焼夷弾の降る中、信濃川の土手に向かって走って避難した体験を話してくれましたが、戦後70年を過ぎ、戦争を直接体験した方々は高齢化し、話を伺う機会がどんどん減っています。しかし、今の、そしてこれからの日本について考えるために、この戦争はずっと語り継ぐべきことです。

国立市は市内の小学生対象に「子ども長崎派遣」を実施しています。本年度本校からは6年生の岡田恵里佳さんが参加し、原爆資料館、浦上天主堂などの施設見学や現地の小学生との交流を行いました。この経験を通して一番強く考えたことを聞くと、「現在でも核兵器はあるし、戦争で苦しんでいる人もいます。私たちが戦争についてきちんと知ることが、平和につながる大切なことだと思います。」と答えてくれました。

国と国との関係が混とんとしてきている今、ぜひお子さんと「平和」について話し合う機会をもっていただきたいと思います。

